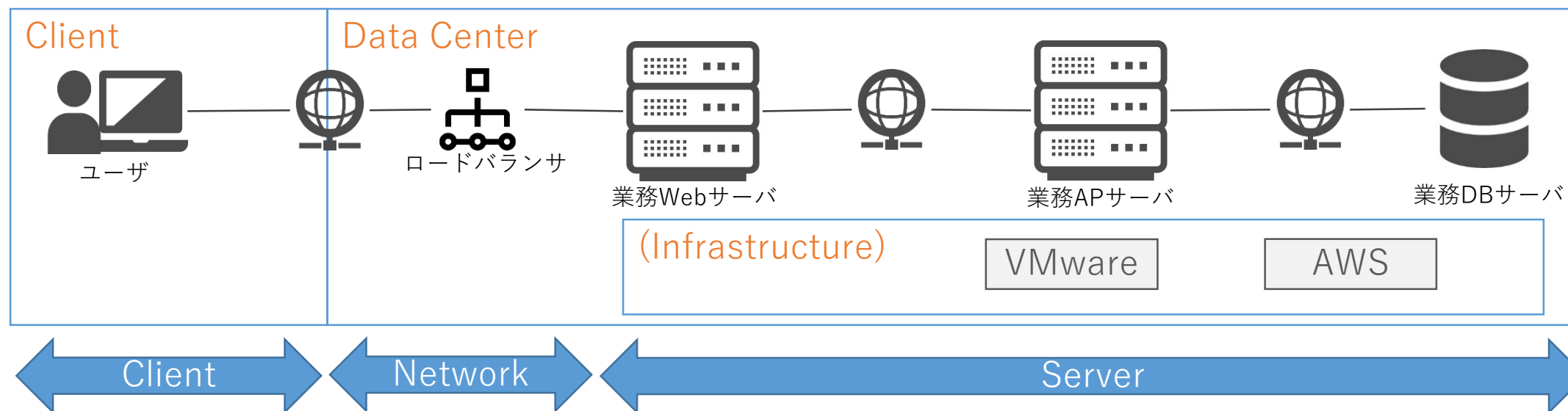


脱 担当者依存！ ネットワーク情報も一発可視化

システム分析手順を共通化しましょう

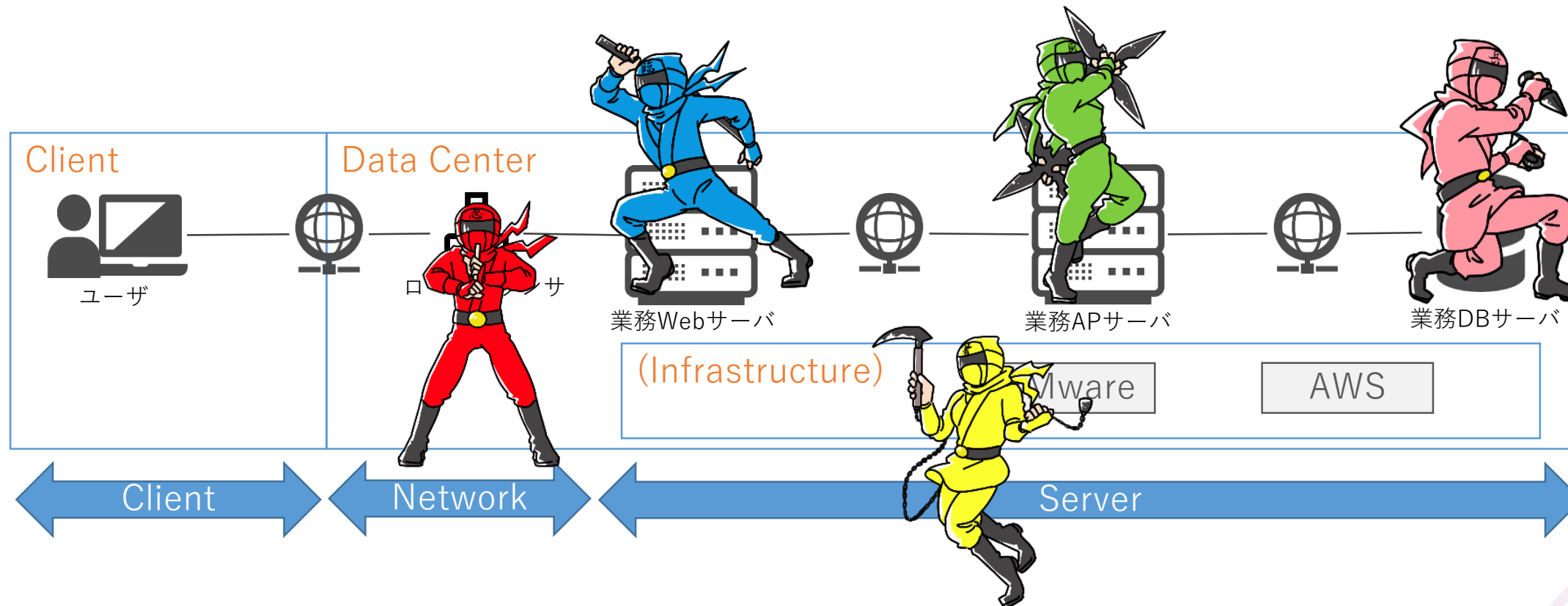
監視カバレッジ

Client、Network、Server(仮想基盤と仮想サーバ)にわたる
全体の可視化がおすすめです



管理体制

多くの場合、システムリソースごとに管理者が異なります



専門知識による分析

リソース状況を分析するには、専門知識が必要となります。
担当外の分野については「分からないもの」であるため、担当者間のコミュニケーションによる解決には限度があります。

リソース	主な調査方法
アプリケーション	JMXでJVMの統計情報を取得 トレース情報からトランザクションのCPU時間を取得
サーバー	Sarコマンドで統計情報を取得
ネットワーク	機器にログインし、専用コマンドを実行(例 IOSコマンド)
仮想基盤	Vcenterにアクセスし、統計情報を確認

分析のばらつき

分析の質は経験によっても、分析レベルにばらつきが出ます。

今日、障害が発生した。
リソースの状況を確認してほしい。

- ✓ 機器のステータス表示に問題なし
- ✓ ネットワークにエラーパケットなし
- ✓ 流量の傾向に変化なし
- ✓ 機器にログインして変更履歴を確認
- ✓ あらゆるログを確認

- ✓ 警告なし
- ✓ リソース使用量は監視閾値を超えていない



ネットワーク管理担当
(入社10年目)

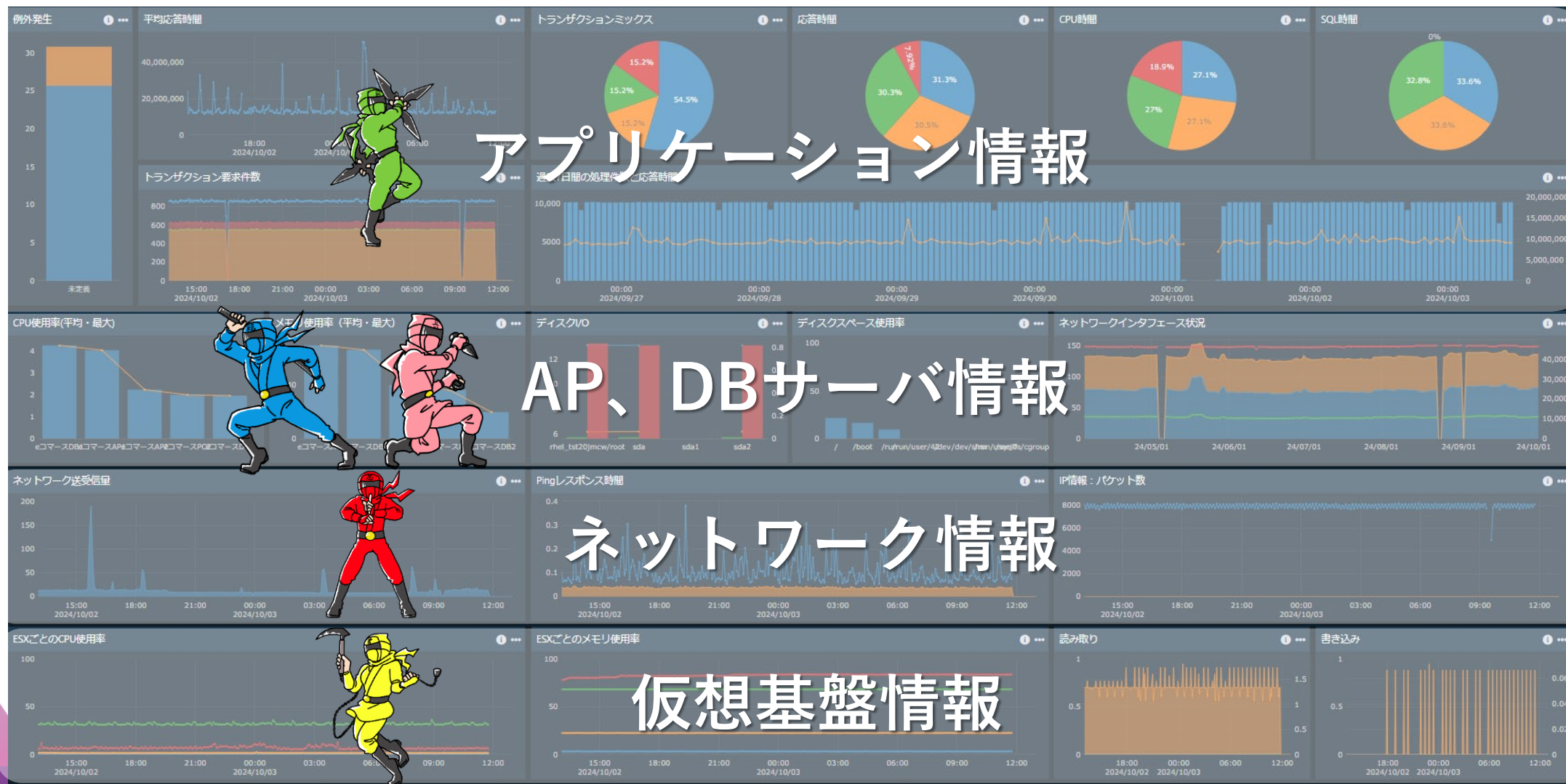


仮想基盤管理担当
(入社3年目)

あらゆるリソース情報をダッシュボードに表示



あらゆるリソース情報をダッシュボードに表示



俯瞰レベルの統一

統計情報をES/1 Sheltyに集約することにより、分析手順を共通化できます。
リソース種別に関係なく、同じ手順で複数のリソース状況を確認できます。

